

# Tesla の中長期事業戦略

- ーIT サービスプラットフォーマーとしてビジネス方向性
- ーフィジカル AI 等中国勢を引き離すための圧倒的格差戦略

ー講師ー 株式会社フォーイン 企画調査部 シニアリサーチャー 李 強福 氏

日 時 2026 年 4 月 8 日 (水) 午後 1 時～3 時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)  
会 場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

## [重点講義内容]

Tesla は、近年 IT サービスプラットフォーマーとしてビジネス領域の拡張を急ピッチで進めています。Tesla は設立当初から掲げております、中長期事業計画に値する「Master Plan」をもとに、BEV の拡充、エネルギーのパラダイム転換、AI(対話型・フィジカル)と人間の共存を実現するための事業を進めています。こういった Tesla のビジネスは、Tesla だけのビジネスにとどまらず、世界自動車産業における未来事業ビジネスの手本となり、中国系を中心に Tesla のビジネスを踏襲し、広げようとするという動きもみられています。

さて、Tesla は、これからどういう形で自分たちの事業を進めていくのでしょうか。これからの時代、Tesla が進もうとしている事業方向はなんのでしょうか。それは、「IT サービスプラットフォーマー」になるということでしょう。Tesla は、単なる BEV メーカーではありません。Tesla にとって、BEV は単なる「ツール」に過ぎません。Tesla は BEV を足がかりとし、より収益性の高いビジネスを営むことを考えております。例えば、エネルギービジネス、各種ソフトウェアの販売、各種 In-Vehicle Service の提供等が挙げられるでしょう。これに加えて、Tesla CEO の Elon Musk 氏が経営している SpaceX、xAI、Neuralink などとの連携で、より Tesla の事業が広がっていくのではないかとみております。

本講義では、IT サービスプラットフォーマーとしての事業を加速させている Tesla の現状と今後について説明し、これにみる日本自動車産業への影響と新たなチャンスについてお話させていただこうと考えております。

1. Tesla Master Plan、既存事業と新事業の推進状況
2. 技術トレンドセッターとしての戦略
3. 購買・サプライチェーンへの取り組み
4. IT サービスプラットフォーマーとしての取り組み
5. 中国勢等との競争と、引き離し戦略
6. 質疑応答／名刺交換

## PROFILE 李 強福(い がんぼく)氏

1981 年 韓国生まれ。2008 年 名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士前期課程修了(文学修士)。2010 年 名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程満期退学。2010 年 4 月～2016 年 8 月 (株)フォーインアジア 調査部アナリスト。2014 年 6 月～2014 年 10 月 (株)フォーインアジア自動車産業調査月報副編集長。2014 年 11 月～2016 年 8 月 (株)フォーインアジア自動車産業調査月報編集長。2016 年 9 月～2023 年 3 月(株)フォーイン企画 調査部シニアリサーチャー。2023 年 4 月～現在(株)フォーイン技術調査部チーフアナリスト。主な調査報告書(日本語のみ):Tesla の将来戦略(2024 年 3 月)、世界自動車メーカーの xEV バッテリー戦略(2024 年 8 月)、世界自動車 メーカーの SDV 戦略と半導体獲得競争(2025 年 5 月)、電動車部品サプライチェーンシリーズ(モーター/インバーター /eAxle、2023 年より現在継続中)ほか、マルチクライアント調査報告書など執筆。

※配信停止、宛先変更、個人情報苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26178-V